

## 改訂 平面交差の計画と設計

# 自転車通行を考慮した交差点設計の手引

交通工学研究会：発行 丸善出版：発売 A4版 約170頁

本体価格 5,000円+税 会員価格 4,500円+税 ISBN978-4-905990-92-5

交通工学研究会では、平面交差の計画・設計(基礎編・応用編)等の出版物において、交通安全の円滑にとって極めて重要な要素である交差点の計画・設計に関する指針を発刊してまいりました。

2012年と2016年に国土交通省・警察庁から発出された「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」では、自転車の車道通行を前提とした自転車ネットワークの形成の方針と、単路・交差点設計の考え方が示され、各地で施行事例が生まれています。また2019年4月には道路構造令が改正され、車道上の自転車空間とその交差点を考慮する必要性がますます高まっています。

本書は、こうした自転車通行を考慮した交差点設計に関連する技術基礎情報、基本的考え方および設計例について、関係する有識者・技術者が協働してとりまとめたものです。安全で快適な自転車利用環境の創出にむけた実務に活用されることを期待しています。

### ◆改訂のポイント◆

- (1) 新たな研究で得られたデータ等の反映(第1章)
- (2) 自転車用信号現示を含む信号制御方法についての、記載の大幅な充実(第2章)
- (3) 左折車線のある交差点での設計例など、悩ましい交差点についての記載の充実(第3章)
- (4) 自転車ガイドラインの改訂、国内各地での路面表示設置事例を含めた記載の充実(第4章)
- (5) 交通規制方法の記載の充実、平成31年4月の道路構造令改正を踏まえた改定(第5章)

### ～目次～

#### はじめに

#### 改訂にあたって

#### 序章 本書について

1. 本書の位置づけと目的
2. 交差点と自転車交通の課題と基本的考え方
3. 本書における用語について

#### 第1章 自転車交通の基本特性

- 1.1 自転車の走行特性
- 1.2 交差点における自転車事故等の特性
- 1.3 自転車の車道走行を考慮した交差点設計の分析事例
- 1.4 交差点における交通安全施策の留意点  
コラム1 双方向通行の自転車道の交差点処理

#### 第2章 交差点部の通行制御

- 2.1 交差点部における自転車の通行制御の基本
- 2.2 自転車専用の信号機設置・運用
- 2.3 自転車専用通行空間設置による交差点の需要率への影響について
- 2.4 海外における交差点部の自転車制御

#### 第3章 交差点部の設計例

- 3.1 本章の構成
- 3.2 基本的な考え方
- 3.3 一般的な交差点の設計例

コラム2 歩行者用の交通島を設けた設計例  
～Protected Intersection～

コラム3 双方向通行の自転車道を採用せざるを得ないケース

① 双方向通行自転車道のある道路同士の交差

コラム4 双方向通行の自転車道を採用せざるを得ないケース

② 双方向通行自転車道のある道路と自転車レーンのある道路の交差

3.4 特殊な交差点の設計例

コラム5 もつと道幅が狭い場合

#### 第4章 交差点部における法定路面標示および法定外路面表示

- 4.1 交差点部における法定外路面表示設置の考え方
- 4.2 法定外路面表示の設置事例
- 4.3 法定外路面表示用カラー材料

#### 第5章 自転車通行環境整備に係る法令上の留意事項

- 5.1 道路及び道路交通に関する法体系
- 5.2 推進上の留意事項  
コラム6 自転車の保護規定と自転車横断帯の撤去
- 5.3 道路構造基準の運用上の留意点

索引

 令和2年10月6日以降 一般販売開始

発行 交通工学研究会

TEL 050-5507-7153

<http://www.jste.or.jp/>

発売 丸善出版(株)

TEL 03-3512-3256

<https://www.maruzen-publishing.co.jp/>



## 続・自転車通行を考慮した交差点設計の考え方

自転車活用推進法が施行され、昨年は道路構造令に自転車通行帯が位置付けられて、全国的に自転車の車道通行を考慮した道路設計ニーズが高まっています。自転車を車両として考慮する場合、自動車と自転車の動線が交錯する平面交差点の設計が特に難しく、設計者・道路管理者・各都道府県警の担当者の頭を悩ませています。

本講習会では、全国的な自転車の交通安全関連の施策や取組に関する最新状況について概括するとともに、各地で担当者を悩ませてきた、信号処理や左折自動車との交錯処理、法定外路面表示などに対し、改めて整理した設計の考え方等について解説していきます。会員の方々をはじめ、多数の皆様方のご参加をお待ちしております。

- 主催：一般社団法人 交通工学研究会 <http://www.jste.or.jp/> ■後援：警察庁・国土交通省(予定)
- 開催日：2020年10月5日(月)
- 開催形式：Zoomを使ったオンライン形式
- 参加費：交通工学研究会 正会員 8,250円 特別会員 8,800円 学生会員 3,850円 非会員 9,900円(消費税込/テキスト代別)
- テキスト：「改訂 平面交差の計画と設計 自転車通行を考慮した交差点設計の手引」(2020年10月発行)を使用します。  
本講習会に参加の方は、参加者特別価格 4,950円(税込)でご購入いただけます。テキストは事前に郵送します。  
テキスト書籍の詳細は次頁をご覧ください。

■プログラム (講習タイトル及び講師は若干の変更がある場合もございますのでご了承願います)

1. 基調講演 平面交差点のデザイン(仮) 安全で円滑な道路交通の実現には、平面交差の計画・設計・交通制御が重要な役割を担っている。自転車の話題に入る前に、まず平面交差点の基本的な概念や考え方について論説する。	小根山 裕之 (東京都立大学)	10:00~10:30
2. 近年の自転車関連事故の発生状況と警察の取組(仮)	大北 良弘 (警察庁交通規制課)	10:30~10:50
3. 安全な自転車通行環境整備に関する道路行政の取組(仮)	菅沼 真澄 (国土交通省)	10:50~11:10
4. 「自転車通行を考慮した交差点設計の手引」の改訂について はじめに・第1章 自転車交通に関する基本特性	吉田 長裕	11:10~11:45
昼休み		
第2章 交差点部の通行制御	新倉 聡	12:45~13:20
第3章 交差点部の設計例	大脇 鉄也	13:20~14:25
休憩		
第4章 交差点部における法定外路面表示	松原 淳	14:35~15:10
第5章 法令上の留意事項	海老澤 綾一	15:10~15:25
休憩		
5. パネルディスカッション 参加者からの質問をもとに討議	コーディネーター:久保田尚 パネリスト:小根山裕之、吉田長裕、新倉聡、大脇鉄也、松原淳、海老澤綾一ほか	15:35~17:00

- ★プログラム 1~4 の講演は事前に録画した映像を配信し、パネルディスカッションは同時生中継いたします。
- ★講演に関する質問はウェブを通して随時受け付け、パネルディスカッションではいただいた質問をもとに討議を進めます。
- ★会社や自宅などで受講頂くことを想定しておりますが、適当な受講場所の確保が難しい方は事務局までメールでご相談下さい。
- ※ 受講場所等に関するお問合せ：一般社団法人交通工学研究会 事務局 MAIL: [event-a@jste.or.jp](mailto:event-a@jste.or.jp)

### 参加登録について

- ・当会ウェブページ(<http://www.jste.or.jp/Event/index.html>)より、第104回交通工学講習会の欄の申込フォームよりお申込みください。
- ・本講習会に参加するには、参加登録が必要となりますので、事前に参加登録をお済ませください。
- ・申込みフォームから参加者情報の送信、参加費納入の両方の手続きが済むと、参加登録が完了となります。
- ・申込期間:2020年9月1日(火)~2020年9月23日(水)・参加費納入期限:2020年9月23日(水)
- ・参加登録が完了した方には、参加登録された住所あてに事前にテキストを送付します。当日のオンライン会場へのアクセス方法や、資料入手方法等の案内はメールでお知らせします(開催日の1週間程前を予定)。
- ・キャンセルに伴う返金は、2020年9月23日(水)までのお申し出に限り対応します。

参加申込み・参加費納入に関するお問合せ：一般社団法人交通工学研究会 受付事務局  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル (株)毎日学術フォーラム内  
TEL: 03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 MAIL: [maf-jste@mynavi.jp](mailto:maf-jste@mynavi.jp)

その他のお問合せは、MAIL: [event-a@jste.or.jp](mailto:event-a@jste.or.jp) までお願いします。



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MKビル 5階

※開催に関する緊急の連絡は <http://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。